

株式会社 MORESCO

小さくとも世界にきらりと光を放つ企業を目指して

第3四半期業績の概要

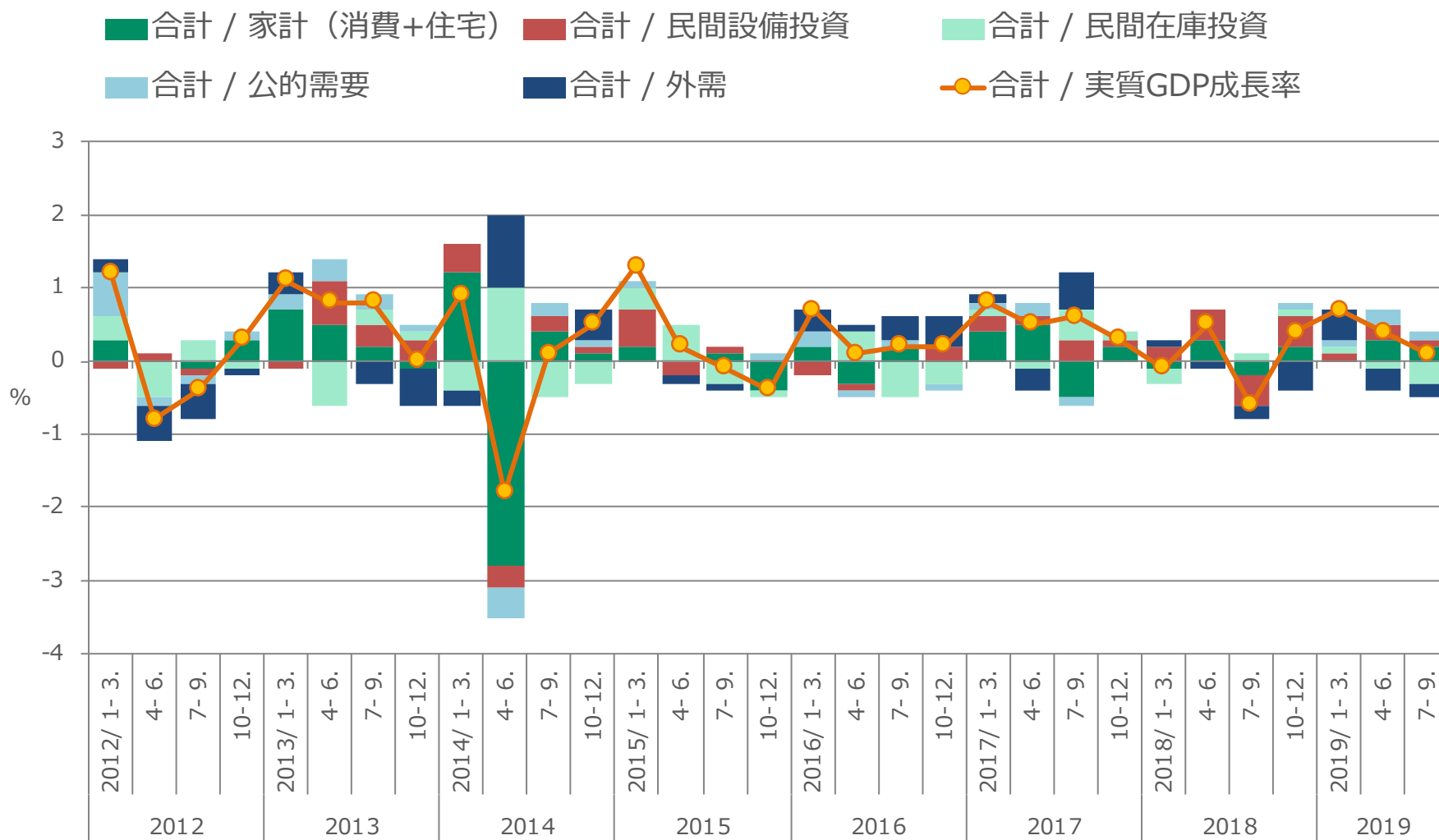
(2019年3月1日～2019年11月31日)

東証第一部5018 (石油・石炭製品)

2020/1

四半期別 実質GDP寄与度 推移

出展：内閣府



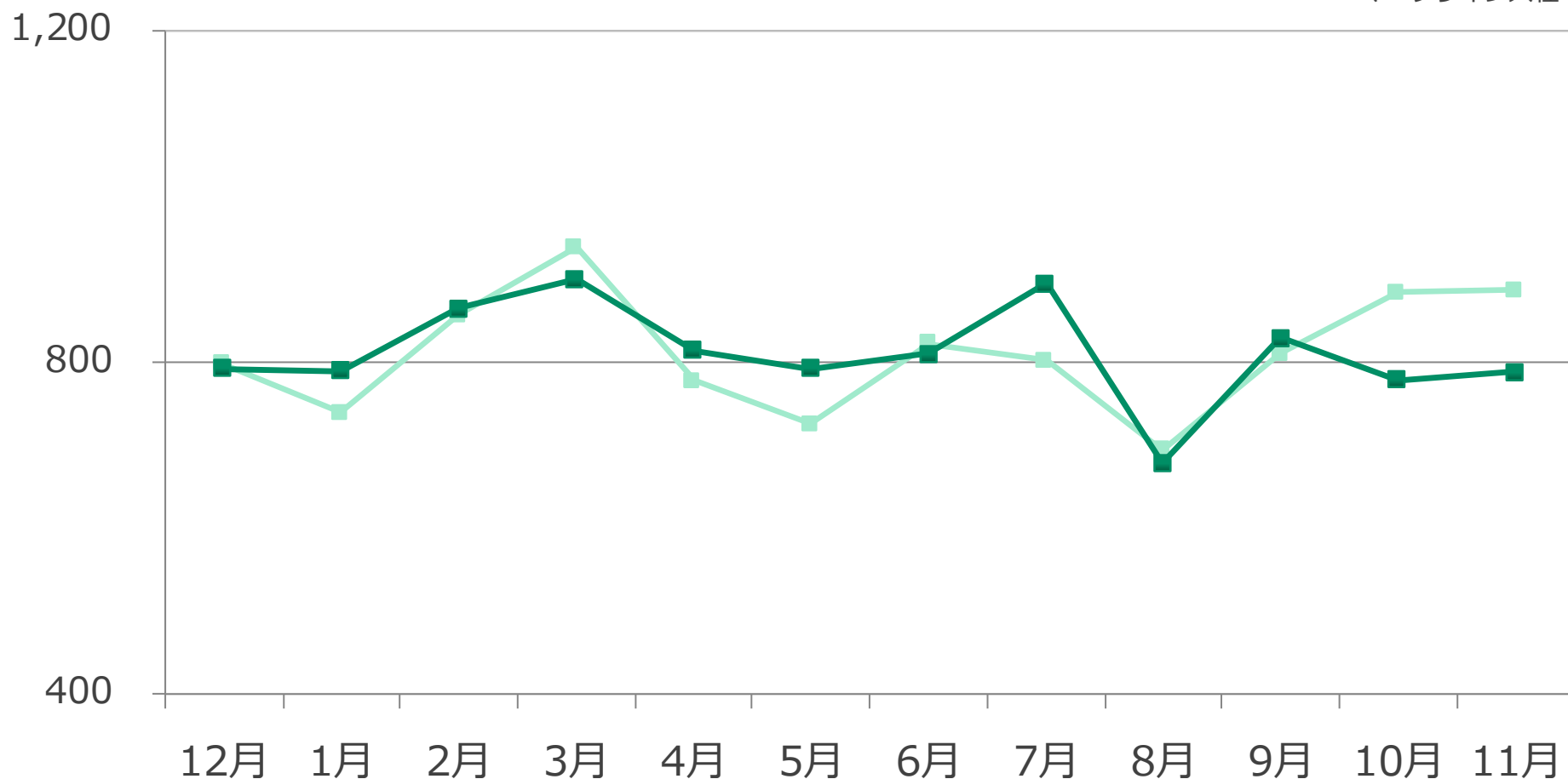
国内 月別 自動車生産台数

2017.12-2018.11

2018.12-2019.11

出典：日本自動車工業会
マークラインズ社

単位：千台



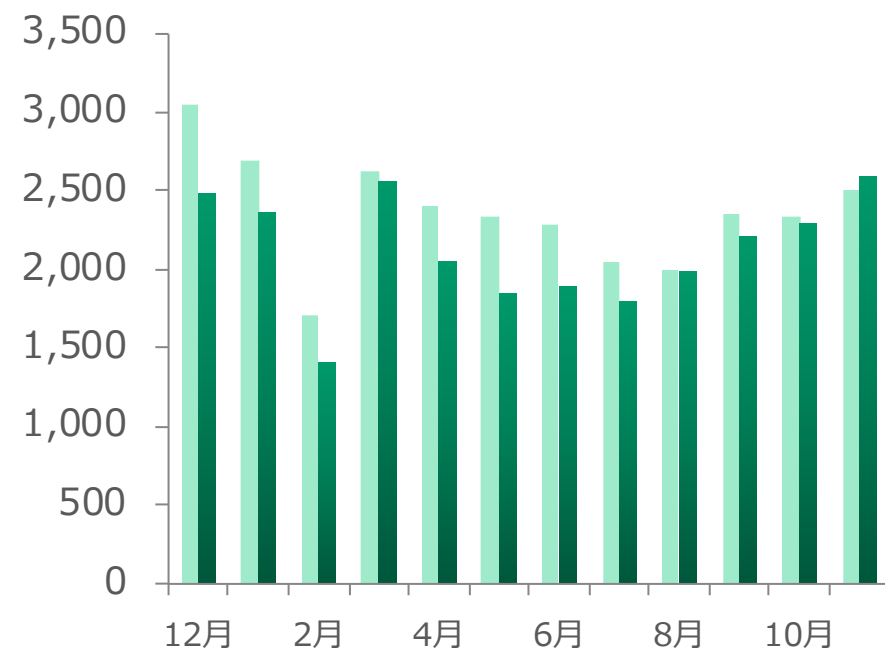
海外自動車生産台数の推移

2017.12-2018.11

2018.12-2019.11

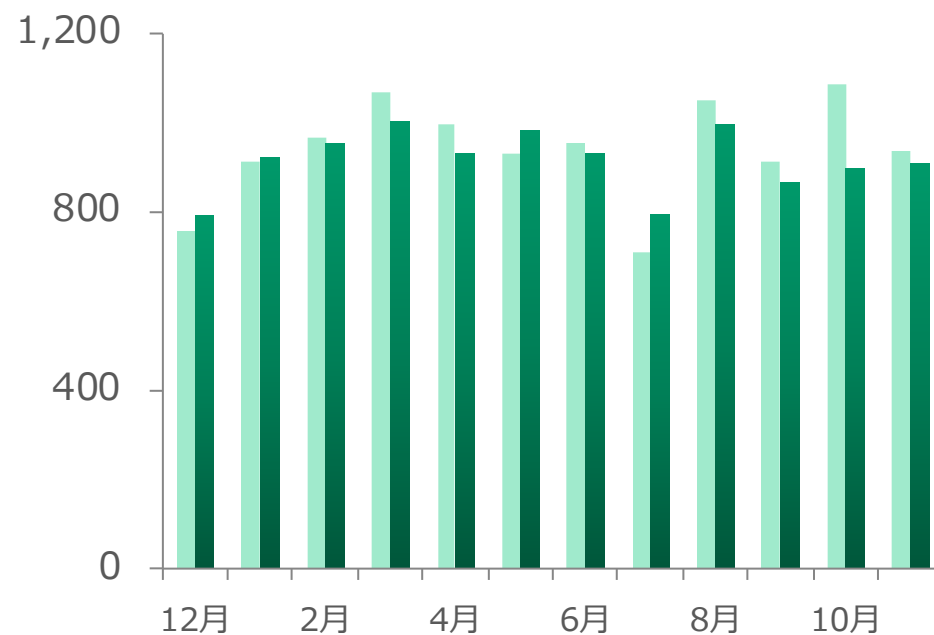
中国

単位：千台



アメリカ

単位：千台



出典：マークラインズ社

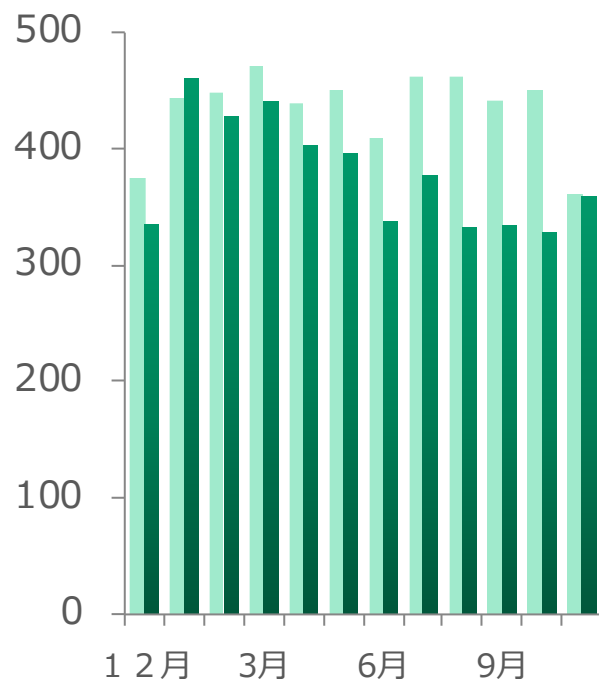
海外自動車生産台数の推移

■ 2017.12-2018.11

■ 2018.12-2019.11

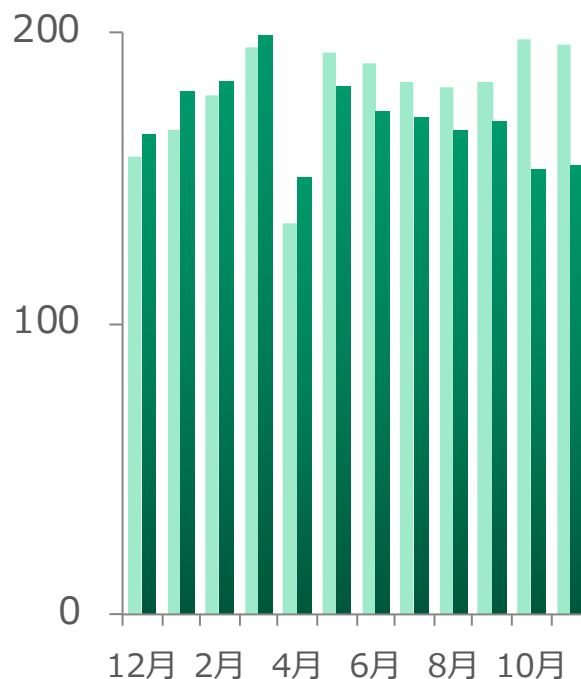
インド

単位：千台



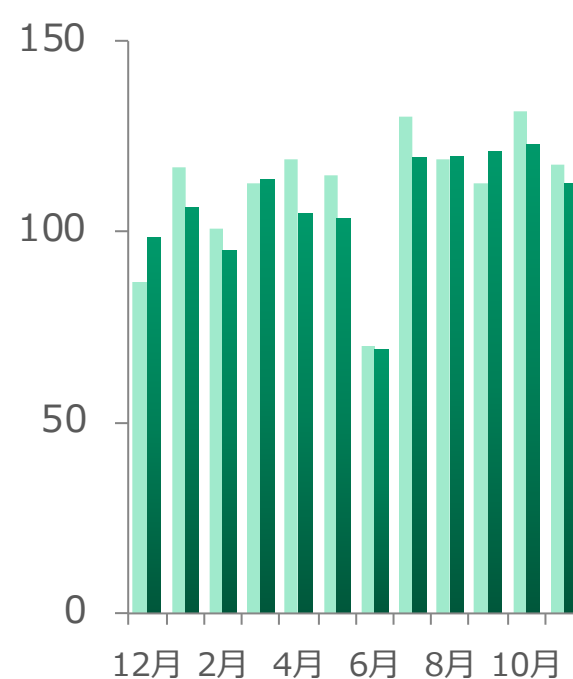
タイ

単位：千台



インドネシア

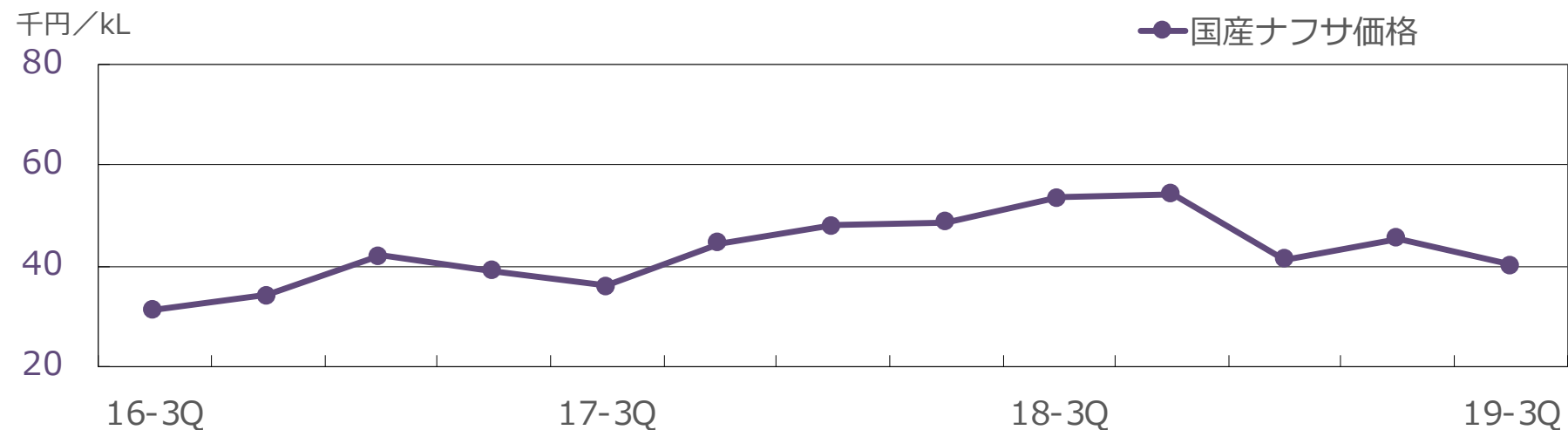
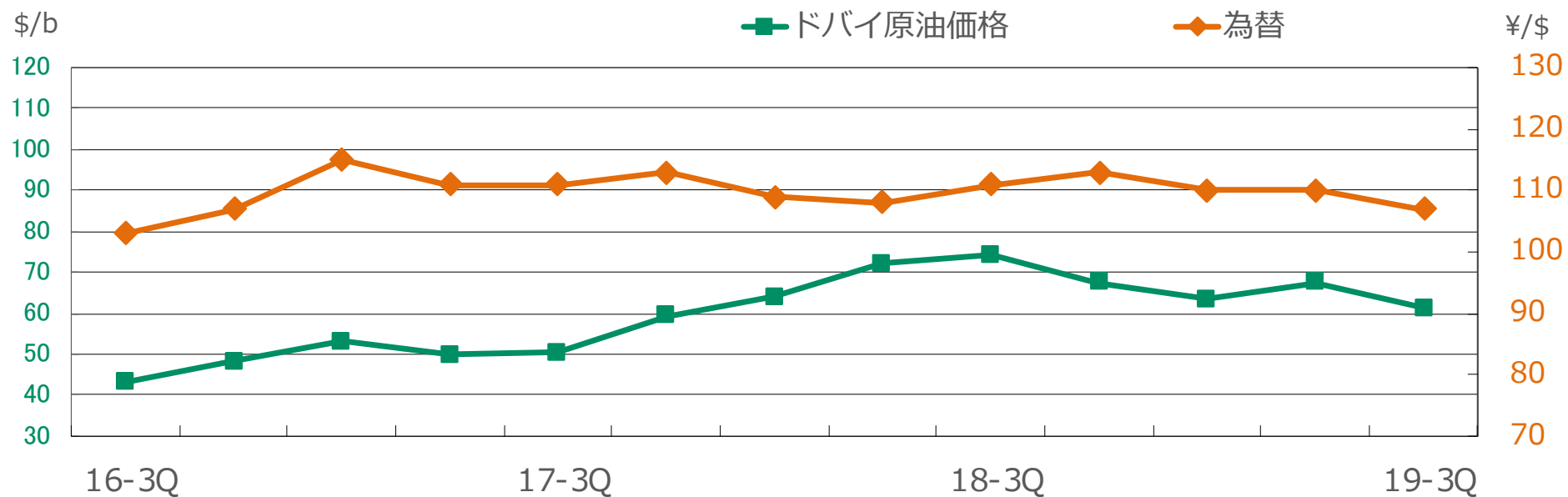
単位：千台



出典：マークラインズ社

当期の経営環境（５）

MORESCO



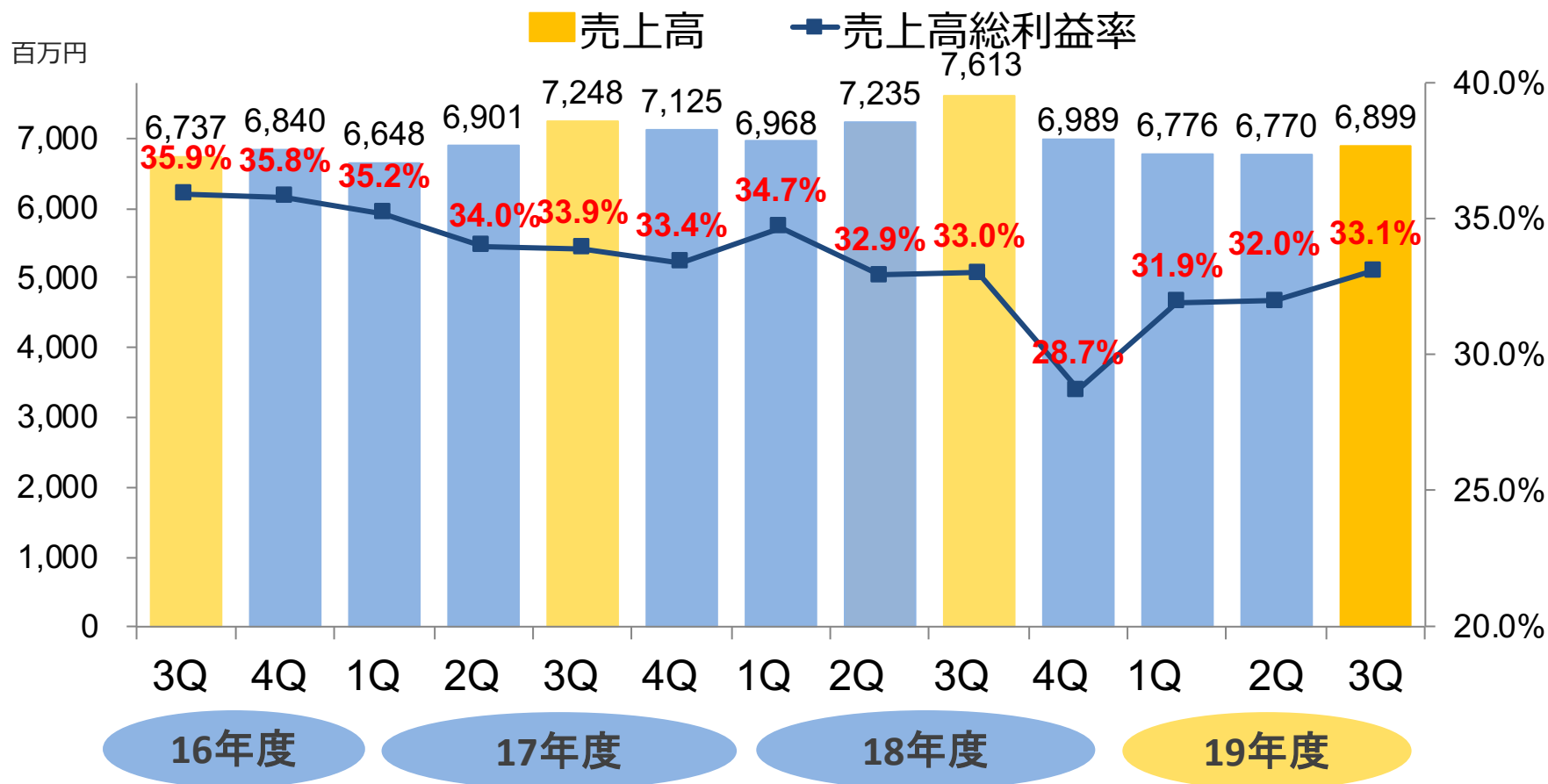
- 海外での特殊潤滑油、ホットメルト接着剤の売上減、原材料価格の上昇、ハードディスク表面潤滑剤の売上減等により減収減益

単位：百万円

科目	18 / 3Q	19 / 3Q	前年同期比
売上高	21,816	20,445	△6.3%
売上総利益	7,312	6,612	△9.6%
販管費	5,519	5,531	+0.2%
営業利益	1,793	1,080	△39.7%
営業外損益	157	129	△17.6%
経常利益	1,950	1,210	△38.0%
特別損益	76	—	—
税引前利益	2,025	1,210	△40.3%
当期純利益 (※)	1,294	605	△53.2%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

- 海外での特殊潤滑油の出荷増により回復傾向にあるも、原料高から依然として低水準



部門別売上高の内訳

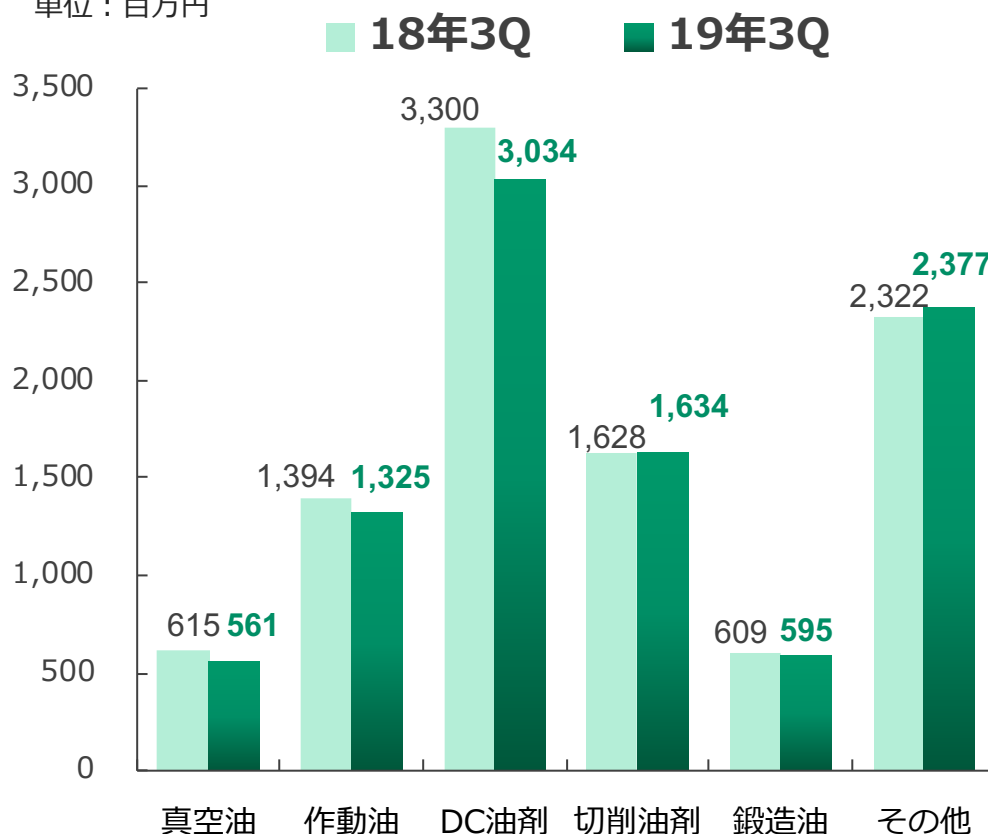
MORESCO

単位：百万円

科目	18 / 3Q	19 / 3Q	前年同期比
特殊潤滑油部門	9,868	9,526	△3.5%
合成潤滑油部門	2,147	1,646	△23.3%
（うち、HD潤滑剤）	1,101	700	△36.4%
素材部門	2,918	2,826	△3.2%
ホットメルト接着剤部門	5,545	5,166	△6.8%
その他	1,298	1,241	△4.4%
化学品事業計	21,776	20,405	△6.3%
ビル事業	40	40	0.0%
売上高合計	21,816	20,445	△6.3%

➤ 部門全体の売上は前年比3.5%減（9,526百万円）
数量は5.0%減

単位：百万円



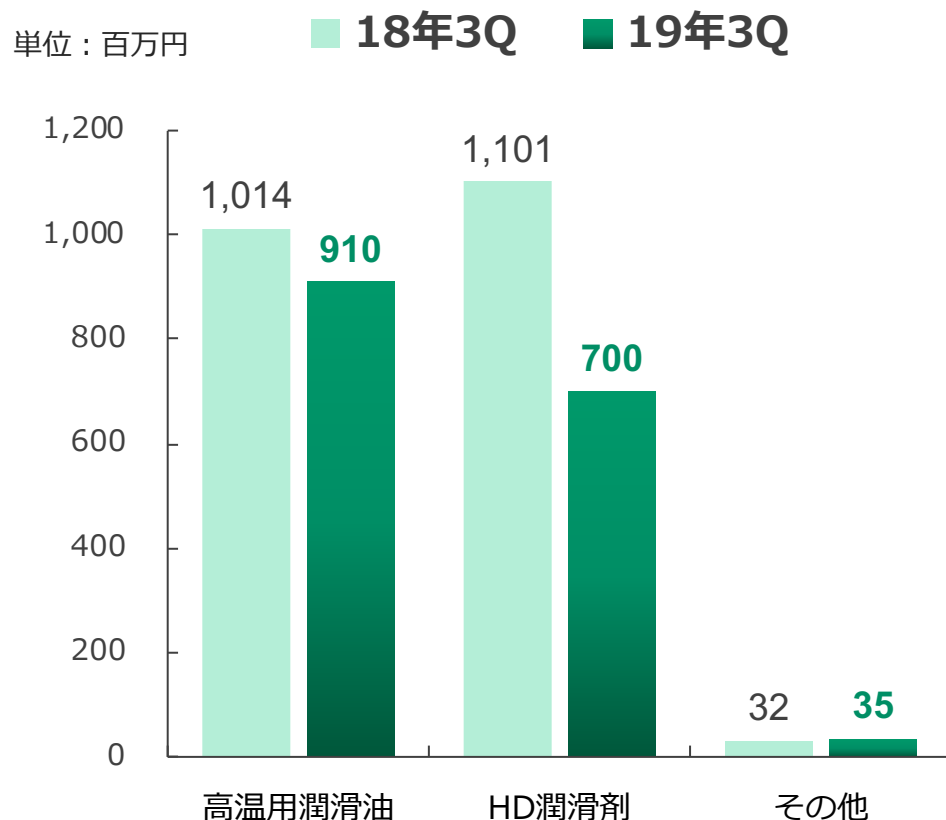
➤ダイカスト用油剤

中国では自動車生産台数の減少により減収

➤切削油剤

既存顧客への出荷が減少したものの、新規需要の獲得により増収

➤ 部門全体の売上は前年比23.4%減（1,646百万円）
数量は19.9%減



➤ 高温用潤滑油

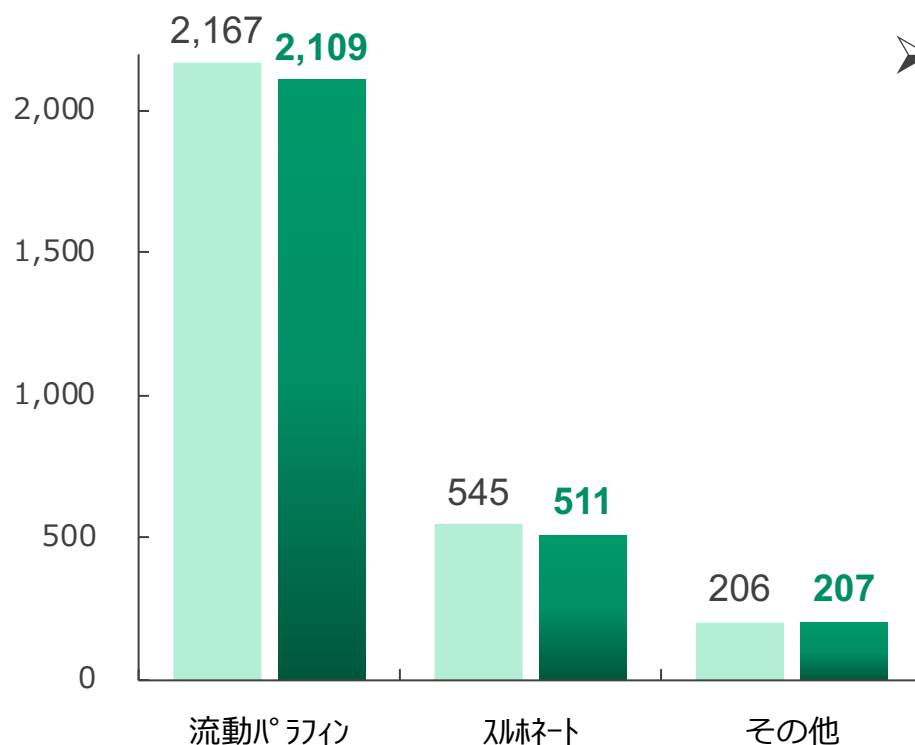
顧客の中国向け輸出の減少が続き、
自動車ベアリング用グリース基油
用途で売上が減少

➤ ハードディスク表面潤滑剤

ハードディスクドライブ市場の
縮小により減収

➤ 部門全体の売上は前年比3.2%減（2,826百万円）
数量は5.5%減

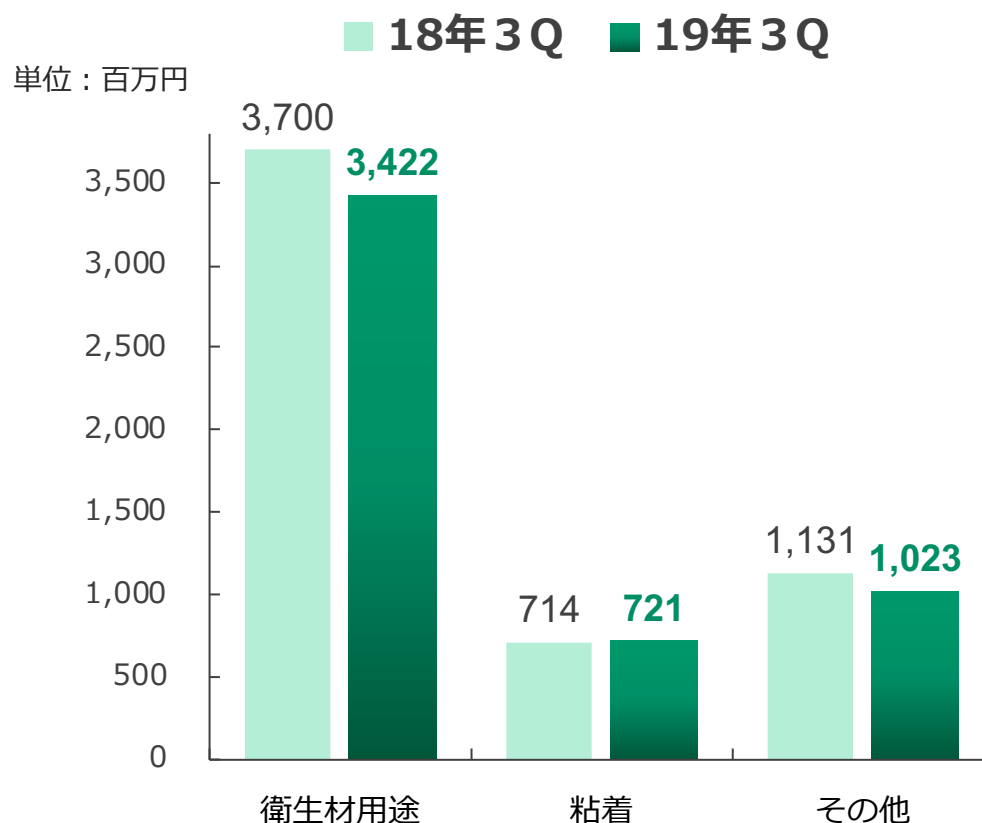
単位：百万円 ■ 18年3Q ■ 19年3Q



➤ 流動パラフィン

化粧品用途およびリチウムイオン
バッテリー用途で顧客での生産調整
の影響により出荷が減少

➤ 部門全体の売上は前年比6.8%減（5,166百万円）
数量は7.9%減



➤ 衛生材用途

顧客での生産調整の影響により減収

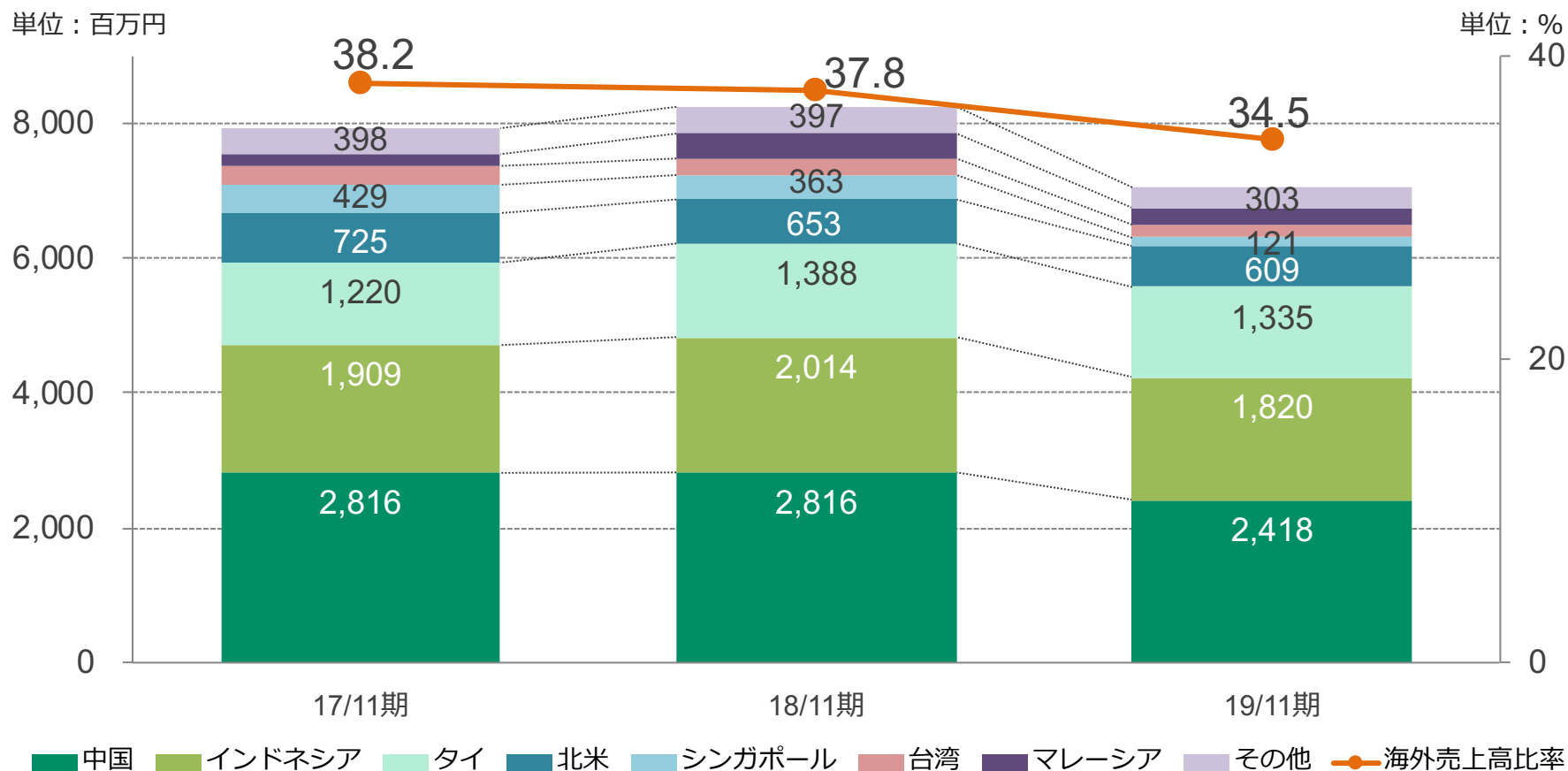
➤ 粘着用途

既存顧客での増販に加え、新規顧客の獲得により前年同期比増

➤ その他

フィルター用途は堅調に推移した一方で、自動車用途が不振

- 中国では自動車生産台数の減少により売上が減少。インドネシアではホットメルト接着剤の輸出減が売上減少の起因に。



決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	18 / 3Q累計	19 / 3Q累計	前年同期比
売上高	21,816	20,445	△6.3%
売上総利益	7,312	6,612	△9.6%
販管費	5,519	5,531	+0.2%
営業利益	1,793	1,080	△39.7%
営業外損益	157	129	△17.6%
経常利益	1,950	1,210	△38.0%
特別損益	76	—	—
税引前利益	2,025	1,210	△40.3%
当期純利益 (※)	1,294	605	△53.2%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	18 / 3Q累計	19 / 3Q累計	前年同期比
売上高	21,816	20,445	△6.3%
売上総利益	7,312	6,612	△9.6%
販管費	5,519	5,531	+0.2%
営業利益	1,793	1,080	△39.7%
営業外損益	157	129	△17.6%
経常利益	1,950	1,210	△38.0%
特別損益	76	—	—
税引前利益	2,025	1,210	△40.3%
当期純利益 (※)	1,294	605	△53.2%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

単位：百万円

	18 / 3Q	19 / 3Q	増減	前年同期比
販売費・一般管理費	5,519	5,531	+ 12	+ 0.2%
うち、研究開発費	1,048	1,047	△ 1	△ 0.1%
売上高販管費比率	25.3%	27.1%		
売上高研究開発費比率	4.8%	5.1%		

決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

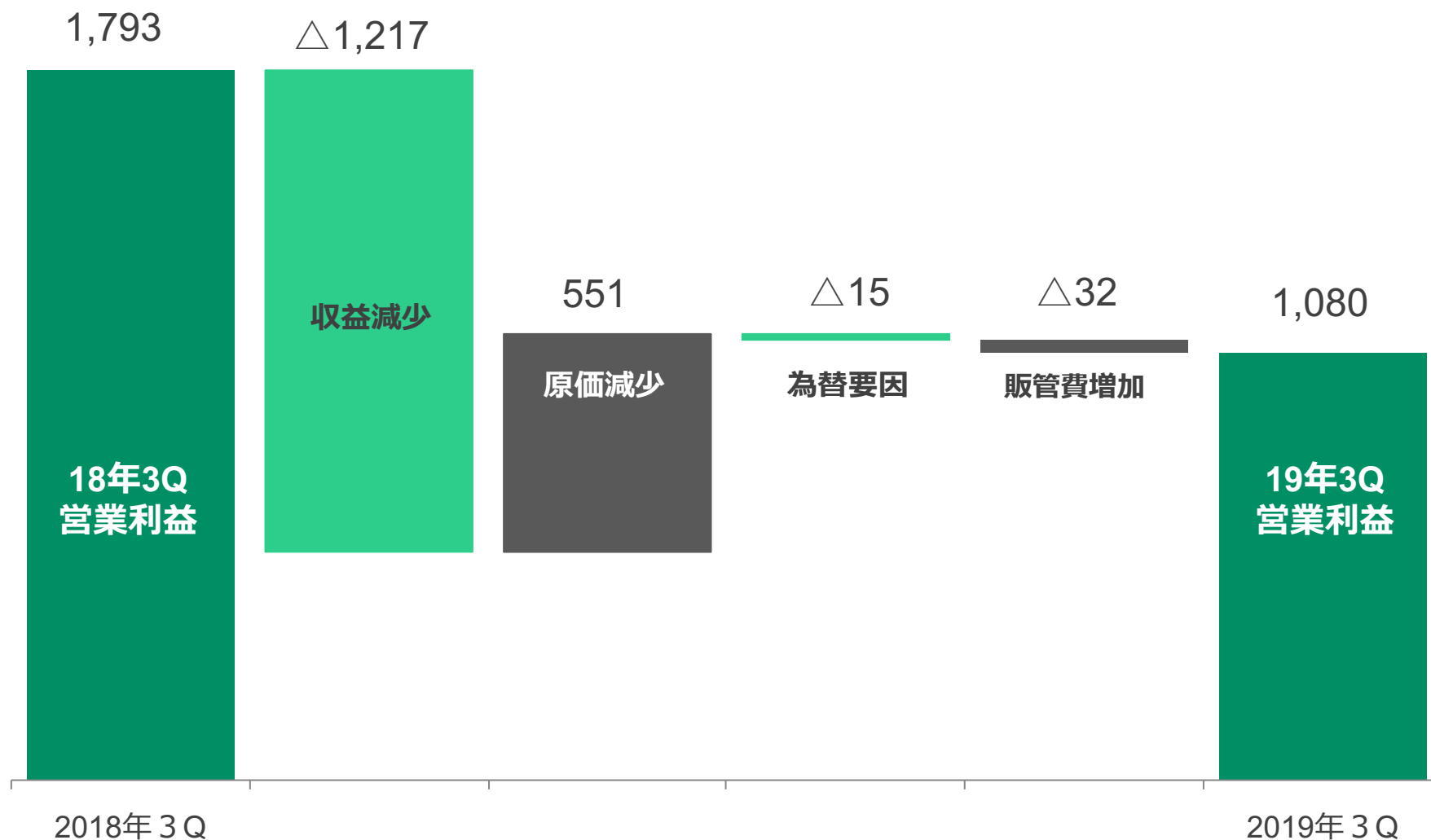
科目	18 / 3Q累計	19 / 3Q累計	前年同期比
売上高	21,816	20,445	△6.3%
売上総利益	7,312	6,612	△9.6%
販管費	5,519	5,531	+0.2%
営業利益	1,793	1,080	△39.7%
営業外損益	157	129	△17.6%
経常利益	1,950	1,210	△38.0%
特別損益	76	—	—
税引前利益	2,025	1,210	△40.3%
当期純利益 (※)	1,294	605	△53.2%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

営業利益変動要因

MORESCO

単位：百万円

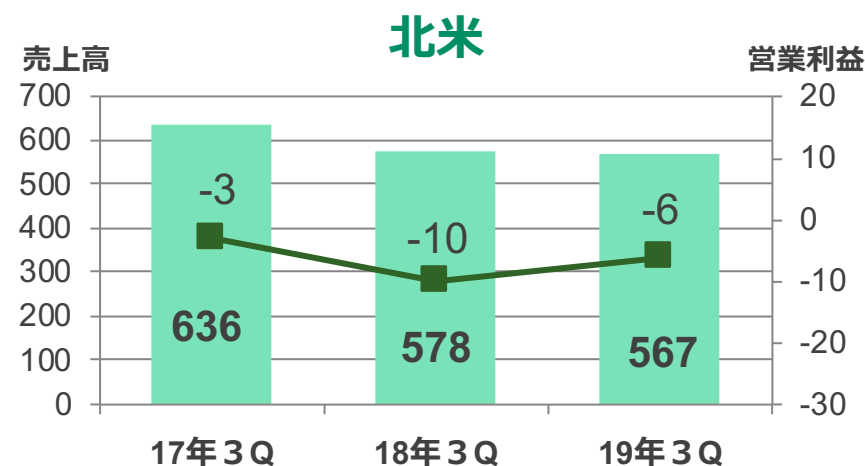
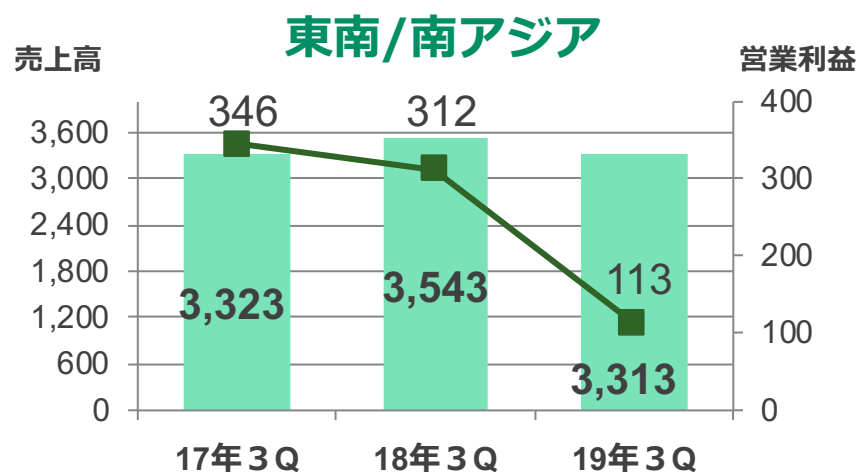
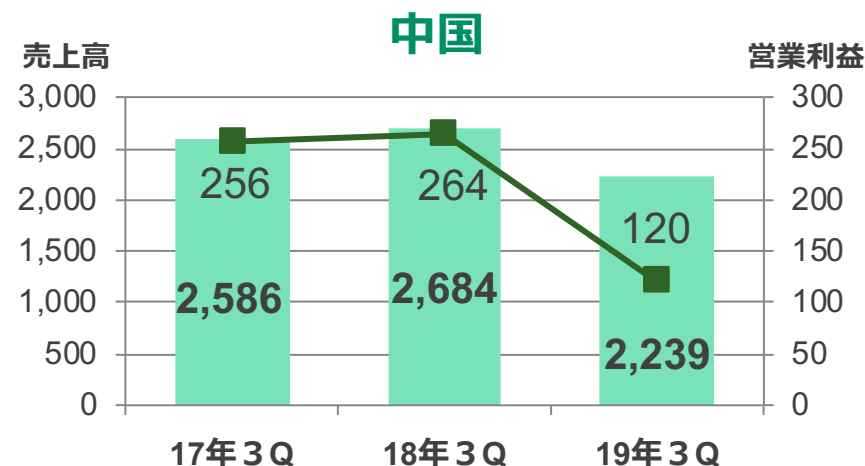
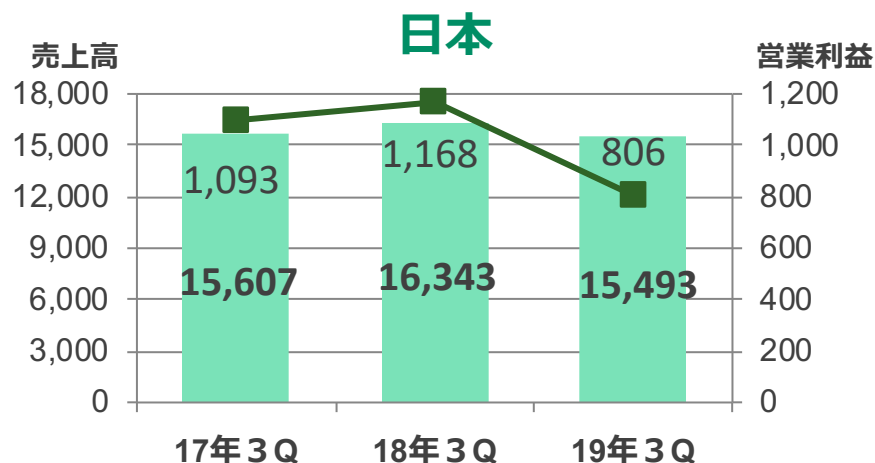


地域別損益（連結）

MORESCO

■ 売上高 ■ 営業利益

単位：百万円



貸借対照表（連結）

MORESCO

単位：百万円

科目	19/11期	増減	科目	19/11期	増減
現預金	3,293	△84	仕入債務	4,299	△228
売上債権	6,919	56	有利子負債	3,696	784
棚卸資産	4,768	103	その他流動負債	1,770	△633
その他	353	56	その他固定負債	571	△32
流動資産計	15,333	131	負債合計	10,336	△144
有形固定資産	9,182	△50	資本金・資本剰余金	4,098	0
無形固定資産	1,094	△181	利益剰余金	11,826	125
投資その他	2,517	△31	自己株式	△157	16
固定資産計	12,793	△261	包括利益累計額	△126	△204
			非支配株主持分	2,148	77
			純資産合計	17,789	14
資産合計	28,126	△130	負債・資本合計	28,126	△130

注) 増減：19/2期末との比較

単位：百万円

科目	19/ 2末	19 / 11末	増減
短期借入金※	2,173	2,298	+125
長期借入金	775	1,398	+623
借入金合計	2,948	3,696	+748

有利子負債比率	10.4%	13.1%
---------	-------	-------

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む

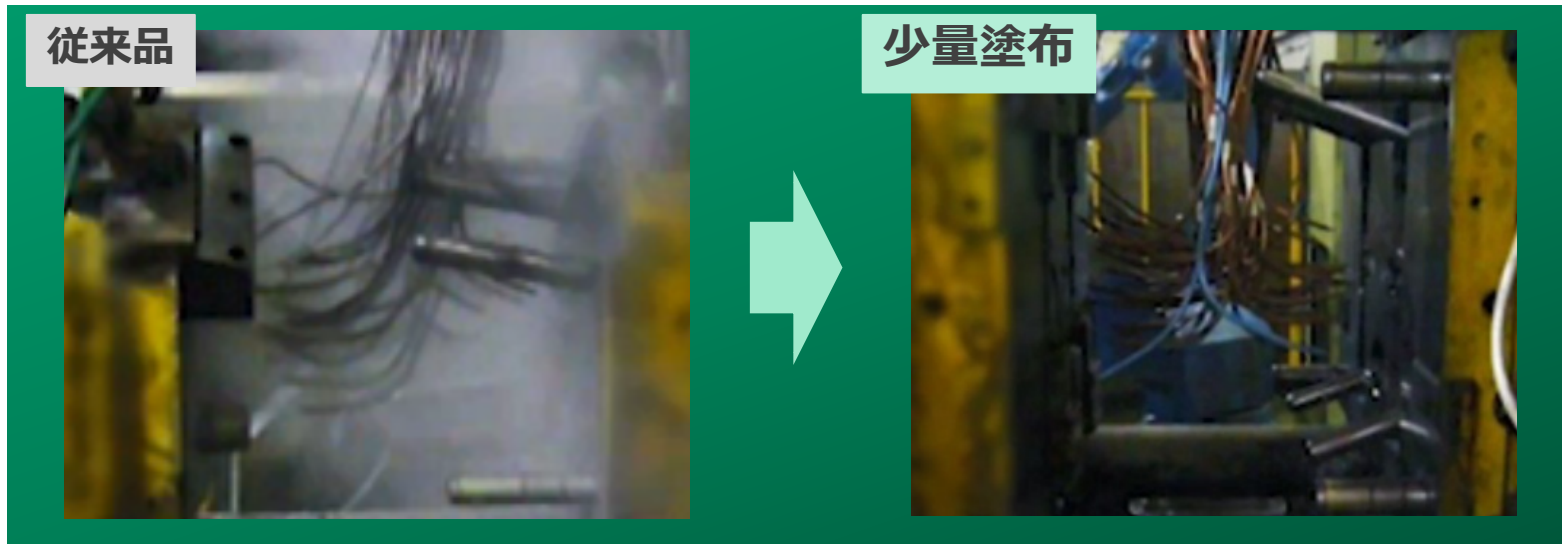
- インド工場稼動をはじめとして海外での製造、販売を拡大。また付加価値の高い新製品の拡販に注力

科目	2018年3Q	2018年度	2019年3Q	2019年度予想
売上高	21,816	28,806	20,445	28,500
営業利益	1,793	1,950	1,080	1,500
経常利益	1,950	2,202	1,210	1,700
当期純利益	1,294	1,438	605	1,000

新製品・新分野

➤ 水溶性少量塗布型離型剤

- 希釈タイプと比べて約1/100の塗布量を実現したダイカスト用離型剤を拡販中



◆ メリット

- ・ 使用量減少によりお客様のトータルコストを削減
- ・ 廃液がほぼゼロになり、環境負荷を低減
- ・ 飛沫を防ぐことで作業環境を改善
- ・ 金型の超寿命化を実現（約2倍に伸びた例あり）

➤ 「USA」 チップ潤滑剤REシリーズとバックスプレーシステムのデモ機と訪問実演提案

- ・ 適量を確実に塗布することで生産効率を向上
- ・ REシリーズは潤滑性に優れスリーブ及びチップを長寿命化
- ・ 発生ガス量が大幅に抑制され鑄巣対策に最適
- ・ 白タイプにつき作業環境を改善



バックスプレー方式のデモ機



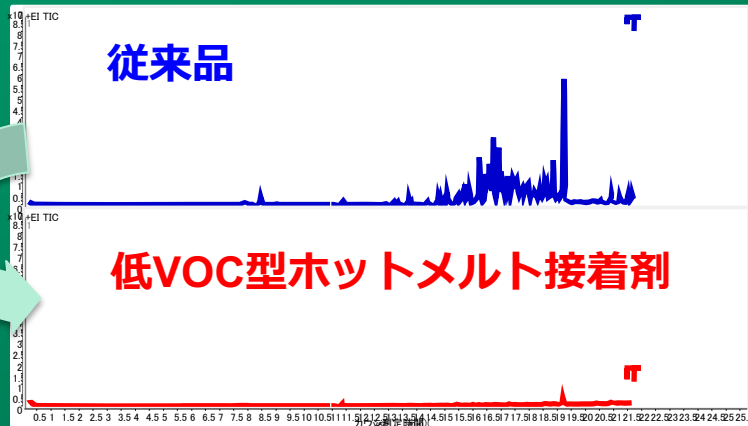
訪問実演車

➤低VOC型ホットメルト接着剤

- 有機溶剤を使用しないホットメルト接着剤から、わずかな揮発性有機化合物(VOC)も除去

ホットメルトから発生する
VOC削減に成功！

天津莫莱斯柯科技有限公司
にて生産を開始



◆メリット

- ・ 環境負荷を低減による中国の環境規制に対応
- ・ 安全性をさらに向上させ、シックハウス症候群等を防ぐ。

➤ 高引火点流動パラフィン

➤ 分子量が少なく、高い引火点（260℃）を持つ流動パラフィンを開発

化粧品、リチウムイオンバッテリー、化学、医薬品向け等に展開



◆ メリット

- ・ 消防法の危険物に該当せず、きわめて安全性が高い。
- ・ 高温環境下で使用しても油煙が発生しにくい。
- ・ 高引火点の流動パラフィンでありながら低い動粘度を実現

メディカル材料プロジェクト

創薬研究

- ・ 大学等研究機関と共に開発推進

ナノエマルジョン技術

- ・ 薬物の吸収効率改善（経口/経皮）
- ・ 医農薬、化粧品、サプリ等へ展開推進



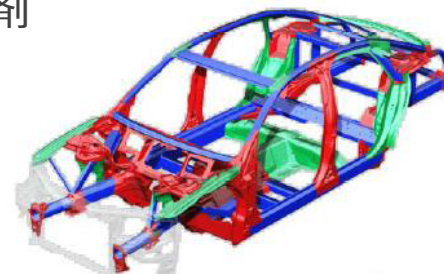
OPV開発部

有機薄膜太陽電池(OPV)の量産化と用途拡大を図っている。



粉体離型剤プロジェクト

構造部材用離型剤



Fe → Al
-198 kg



成人男性（日本）
3人分

欧州の軽量化事例(Audi A8) 出典：audi.de

コート剤プロジェクト

ハードディスク表面潤滑剤は一種のコーティング剤



車両用コート剤



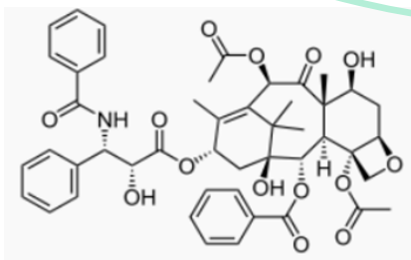
生活関連コート剤



ナノインプリント

➤ メディカル材料プロジェクト

ヒット化合物



① 創薬研究

構造活性相関解析

リード化合物

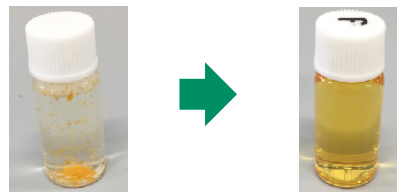


前臨床化合物



② ナノエマルジョン応用

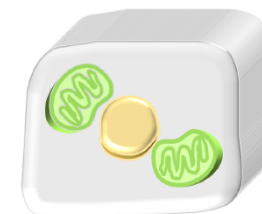
化粧品・サブリへの展開



コエンザイムQ10
クルクミン等

③ バイオ研究支援試薬

細胞成長促進剤
遺伝子デリバリー



先進アカデミアとの
共創

当社強みの合成化学
技術を生かして！

➤OPV開発部

◆有機薄膜太陽電池(OPV)の特徴 軽い、曲がる、カラー、シースルー

MORESCO OPV



様々な設置場所を想定可能



◆課題

- ・発電効率、安定性、寿命、材料（多種、変動）
- ・他の薄膜系と差別化された用途の発掘

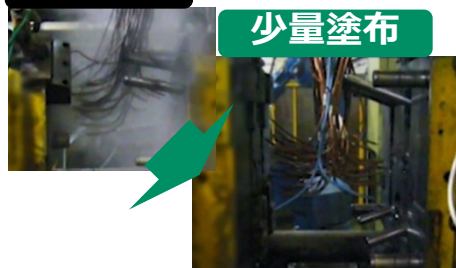
➤ MORESCO HM&LUB INDIA PRIVATE LIMITED

- 7月より本格稼動を開始。経済成長が著しく、市場が急激に拡大しているインドで、特殊潤滑油およびホットメルト接着剤の現地生産、販売を推進。海外展開の更なる活性化の牽引役に。



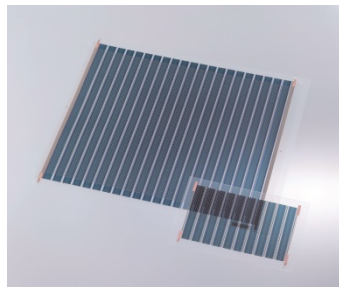
➤ 環境にやさしい製品の開発

従来品



少量塗布

水溶性少量塗布型
離型剤



有機薄膜太陽電池
(OPV)



低VOC型ホットメルト
接着剤



廃水処理装置

➤ 当社拠点のある3市に福祉車両を贈呈（2013年度～）



2019年4月神戸市（兵庫）



2019年3月赤穂市（兵庫）



2019年3月市原市（千葉）



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。

株式会社 **MORESCO**

2020/1

<http://www.moresco.co.jp/>
IR窓口 078-303-9058（広報室）